

# 三峰川総合開発事業促進期成同盟会・天竜川上流治水促進期成同盟会 要望活動(国土交通省・国会議員へ)を実施しました

令和6年2月7日(水)、14日(水)に 三峰川総合開発事業促進期成同盟会・天竜川上流治水促進期成同盟会の要望活動(国土交通省・国会議員へ)を実施しました。

## 1 期日及び要望先

- ・令和6年2月7日(水) 国土交通省 中部地方整備局 局長 佐藤 寿延 様  
" 河川部長 高橋 伸輔 様
- ・令和6年2月14日(水) 国土交通省 水管理・国土保全局 局長 廣瀬 昌由 様  
" 砂防部長 草野 慎一 様  
衆議院議員 宮下 一郎 様  
参議院議員 足立 敏之 様

## 2 出席者

- ・同盟会正副会長(伊那市、飯田市、駒ヶ根市、箕輪町)
- ・広域連合議会議長(上伊那(伊那市議会議長)、南信州(飯田市議会議長))
- ・関係団体(商工会議所、三峯川沿岸土地改良区連合、長谷地域対策協議会)

## 3 要望書

別紙「要望書」のとおり

## 4 コメント等

- 要望を受けていただいた国土交通省の皆様から、以下のとおりコメント等がありました。
- ・天竜川における洪水調節機能の強化の重要度は認識している。  
昨年12月に変更された天竜川水系河川整備基本方針に沿って、スピード感を持って天竜川水系河川整備計画の策定に取り組んでいく。
  - ・河道掘削や堤防、ダム、遊水地の整備に加え、既設ダム等の有効活用など、さまざまな対策を比較検討しているところである。
  - ・発電や観光など、ダム等を活用した地域振興に協力していく。
  - ・国土強靱化計画に沿って、来年度以降も必要な予算確保に努める。

## 5 添付資料 有 無

本件に関するお問い合わせ先

### 三峰川総合開発事業促進期成同盟会・天竜川上流治水促進期成同盟会 要望活動

【R6. 2. 7】国土交通省 中部地方整備局 佐藤寿延 局長、高橋伸輔 河川部長へ要望



【R6. 2. 14】国土交通省 水管理・国土保全局 廣瀬昌由 局長へ要望



【R6. 2. 14】国土交通省 水管理・国土保全局 草野慎一 砂防部長へ要望



【R6. 2. 14】宮下一郎 衆議院議員へ要望



【R6. 2. 14】足立敏之 参議院議員(本田 秘書)へ要望



# 戸草ダム建設に関する 要 望 書



令和6年2月14日

天竜川上流治水促進期成同盟会  
三峰川総合開発事業促進期成同盟会





## 戸草ダム建設に関する要望

平成元年4月に建設着手した三峰川総合開発事業が今年度末に完了となります。美和ダムの洪水調節機能を強化するため、土砂バイパストンネルやストックヤード施設の建設により、三峰川及び天竜川流域の安全度が向上しました。これまでの取り組みに深く感謝申し上げます。

「暴れ天竜」の異名を持つ天竜川の最大支流三峰川は、中央構造線などにより地質が脆弱なため一度大雨が降ると土砂流出が激しく「天竜川を治めるには三峰川を治めよ」といわれるほど、三峰川の治水対策は大きな課題になっています。

令和元年東日本台風（台風第19号）による大雨では、美和ダムにおいて流入量が大幅に増加し、異常洪水時防災操作が行われ、令和2年7月豪雨では、長野県南部へ大雨特別警報が発令されるほどの大雨となり、三峰川堤防が125mにわたり欠損する事態となりました。いずれも、国関係機関や建設業者による早急かつ適切な対応や、これまでの河川整備効果により大きな被害には至りませんでした。天竜川流域の安全を脅かす緊急事態でした。

このような中、昨年12月22日に変更された天竜川水系河川整備基本方針では、気候変動等による降雨量の増加等を考慮し、県内基準点となる天竜峡の基本高水のピーク流量をこれまでの毎秒5,700 $\text{m}^3$ から毎秒5,900 $\text{m}^3$ に引き上げ、そのうち洪水調節施設等により毎秒1,400 $\text{m}^3$ を調整するとされ、加えて、三峰川の計画高水流量は、これまでの毎秒700 $\text{m}^3$ から毎秒1,700 $\text{m}^3$ に引き上げられました。天竜川の増加する流量については、堤防整備や河道掘削による河積増大や護岸等の整備により処理し、また、河道で処理できない流量については、既存洪水調節施設等の有効活用を図るとともに、「新たな洪水調節施設等を整備し、基本高水に対し洪水を防御する」という方針が示されました。

これまで要望し続けている戸草ダムの建設は、整備方針で示された新たな洪水調節機能として必要不可欠であるとともに、ダムによる水力発電などの利水としての活用や、また、減水・節水を余儀なくされた平成6年及び同13年のような気候変動等による渇水時の河川環境の保全や円滑な水利用、取水施設被災時の安定的な水供給に資する貯留施設としての機能も期待できます。

また、戸草ダム建設予定地上流部には、新緑や紅葉が美しい小瀬戸峡と呼ばれる溪谷や、巫女淵、延命水、そして塩見岳などの観光資源が存在します。戸草ダムの建設及び管理に必要な道路整備により、これらの観光資源へのアクセスや、ダム湖面の利活用が期待でき、新たな地域振興に寄与するものと確信しております。

現在、変更された整備方針に沿い、具体的な整備メニューを盛り込む河川整備計画の変更作業が進められていますが、天竜川流域の安全にはダムの担う役割が大きく、三峰川合流点から上流の天竜川本川の流下能力向上と諏訪湖釜口水門の放流量増加、三峰川での洪水調節のそれぞれの対策が一体となって流域全体における治水安全度の向上に寄与するものと考えられます。

「天竜川上流 流域治水プロジェクト」や、長野県と市町村が協働し表明した「治水 ONE NAGANO 宣言」に基づき、あらゆる関係者と協力し流域治水に取り組んでいるところではありますが、その上で、頻発化・激甚化する自然災害から人命や財産を守るため、河道整備及び洪水調節強化等の治水対策の推進を図るとともに、現在変更作業を進めている天竜川水系河川整備計画に戸草ダム建設を位置づけ、天竜川流域の総合的な治水対策につながるよう、また、ダムによる新たな利水や渇水対策、地域振興の可能性と、2050年カーボンニュートラルに向けた気候変動への負荷軽減のためにも、さらに特段のご高配を賜りますよう、下記の事項について要望いたします。

## 記

- 天竜川水系河川整備基本方針で示された、基本高水に対し洪水を防御するために整備する「新たな洪水調節施設等」として、天竜川流域の総合的な治水対策につながる「戸草ダムの建設」を河川整備計画に盛り込むこと。
- 戸草ダムの建設にあたっては、2050年カーボンニュートラルの政府目標実現に向けた取り組みとして水力発電など利水について検討するとともに、気候変動による渇水対策としての貯留機能を持たせ、安定した農業用水等の供給を図ること。
- ダム湖面を利用したカヌー、SUP、釣り、キャンプなどのアクティビティや、三峰川上流域の観光資源の活用による地域振興が図られるよう検討すること。
- 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に必要な予算・財源について、これまでのペースを緩めることなく例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進すること。また、対策期間完了後においても、昨今の豪雨災害の状況を踏まえた上で、切れ目なく、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進めるため、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、国土強靱化に必要な予算・財源を確保すること。
- 流域治水の推進、地方自治体支援を含めた災害対応を迅速かつ的確に実施するため、地方整備局や事務所・出張所の体制及び機能を確保し、さらなる充実・強化を図ること。また、三峰川総合開発事業が今年度末に完了となるが、三峰川総合開発工事事務所を戸草ダム建設にかかる調査・検討を行う事務所として職員を常駐させ、活用すること。

令和6年2月14日

天竜川上流治水促進期成同盟会

会長	飯田市長	佐藤	健
副会長	伊那市長	白鳥	孝
副会長	駒ヶ根市長	伊藤	祐三



[構成市町村]

伊那市・駒ヶ根市・辰野町・箕輪町・飯島町・  
南箕輪村・中川村・宮田村  
飯田市・松川町・高森町・阿南町・  
下條村・天龍村・泰阜村・喬木村・豊丘村・大鹿村

三峰川総合開発事業促進期成同盟会

会長	伊那市長	白鳥	孝
副会長	飯田市長	佐藤	健
副会長	駒ヶ根市長	伊藤	祐三
副会長	箕輪町長	白鳥	政徳



[構成市町村]

伊那市・飯田市・駒ヶ根市・辰野町・箕輪町・飯島町・  
南箕輪村・中川村・宮田村・松川町・高森町・阿南町・  
下條村・天龍村・泰阜村・喬木村・豊丘村





